

3-8. 小浜市（福井県小浜市）

(1) アドバイザー派遣申請の背景

●地域の概要

- ・人口 30,929人（平成26年1月31日）（外国人含む）
- ・地勢 福井県の南西部、若狭地方の中央に位置し、京阪神・中京ともに100km圏内。
南は東西に走る京都府北部一帯に連なる山岳、北は内外海半島・大島半島で囲まれた小浜湾に面している。市中央は北川・南川の両河川が海岸に細長く走る肥沃な平野を貫流している。
- ・面積 232.87km²
- ・気候 概ね溫和、温暖だが、日本海側気候であり、冬季は積雪がある。

●アドバイザー派遣申請の背景・これまでの取り組み

福井県では、地域の生活に密着した湧水等を「ふくいのおいしい水」として認定している。

小浜市では、地元区等が管理している3か所の湧水が「ふくいのおいしい水」に認定され、地元のみならず、県外住民からも愛されている。

しかし近年、季節によっては水位の低下がみられ、地下水の枯渇が心配されているが、何ら対策が取られていない。また、地域活性化の観点からも、これら湧水のさらなる活用が求められているところであるが、どのような活用ができるのか分からない現状である。

このような背景があり、地域活性化、地下水保全を図るため、アドバイザー派遣申請を実施した。



(2) アドバイザー派遣実施の概要

日 時	平成 26 年 2 月 5 日（水）～平成 26 年 2 月 7 日（金）
場 所	雲城水、津島名水、多賀の湧水、神宮寺、鶴の瀬、国富地区、食文化館、滝の水、八幡神社
アドバイザー	公益財団法人日本生態系協会 地域計画室長 城戸 基秀 氏
参加者	小浜市（環境衛生課、商工観光課）、福井県環境政策課 計 4 名
スケジュール・方法	<p>【1 日目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小浜市概要説明 <p>【2 日目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察 雲城水、津島名水、多賀の湧水、鶴の瀬、神宮寺、食文化館、滝の水、八幡神社 <p>【3 日目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導・助言 エコツーリズム・エコツアーとは何か、他市町事例紹介、小浜市での湧水を活用したエコツアーの作り方

(3) アドバイスの内容

●エコツーリズムの概要について講義

- ・ガイダンスとルール的重要性
- ・他市町等の事例紹介
- ・地域にもたらす効果等（地域の活性化等）

●小浜市での湧水を活用したエコツーリズムの提案

- ・小浜市の湧水は「文化との関わり」「海辺の湧水」「飲める」等の利点
- ・湧水の保全、地域の誇りにつながることが大切
- ・他の自然、歴史文化を組み合わせることで深みと広がりを持たせることが重要



(4) アドバイザー派遣実施の効果

●参加者や関係者に与えた効果

- ・小浜市における観光資源、環境資源の再確認効果
- ・環境保全担当課と観光振興担当課の連携等

●今後の期待される効果

- ・環境保全担当課と観光振興担当課の連携強化
- ・観光振興における湧水等の更なる活用

●今後の取り組み

- ・県立大学等と連携した地下水調査
- ・湧水管理者へ、エコツーリズム等による湧水活用・保全方法を紹介

(5) アドバイザー派遣を実施して（地域からの声）

●参考となった事項

- ・ガイダンスとルール的重要性についての講義
- ・他市町事例等の紹介
- ・「飲める湧水」の重要性、希少性について

●その他感想

「飲める湧水」の重要性、希少性に気付くことができ、小浜市内の観光資源、環境資源の再確認ができた。

(6) エコツーリズム推進アドバイザーから地域へのアドバイス

公益財団法人日本生態系協会 地域計画室長 城戸 基秀 氏

●地域におけるエコツーリズム推進の取組の現状と課題

小浜市では、エコツーリズムを意識した取組は行われていないが、ガイドとまち歩きを楽しむ「小浜ぶらり」などの歴史文化ガイドツアーが行われている。

今回の「湧水」を活かした地域活性化や地下水保全の推進などをきっかけに、エコツーリズムへの認識を高め、他の豊かな自然や歴史文化を活かした取組を進めることが望まれる。

●特に魅力を感じた地域の自然観光資源

今回は「湧水」の活用が求められていたことから湧水を中心にご案内いただいた。各家庭に湧水が自噴していたこと、海辺から5mしか離れていない場所に湧水があること、海底からの湧水が豊かな海産物に関係している可能性があることなどが興味深かった。また、伝統的な神事として湧水を奈良東大寺の「お水取り」に送る「お水送り」があり、湧水を中心として自然・歴史・食文化に広がりを持つ点が、自然観光資源としての魅力であると考えられた。

ほかに、コウノトリの国内最後の野生繁殖地である国富地区におけるコウノトリの里づくりの取組、奈良時代に朝廷に食材を送っていた地域の食文化、城下町の風情を残す町並みなど、エコツーリズムで活用できる資源は豊富にあると感じた。

●アドバイス（講義等）の概要

- ・まず、エコツーリズムやエコツアーの基本的な考え方（観光振興、地域振興、資源の保全の重要性など）や、日本での取組の状況（モデル事業、エコツーリズム推進法）などについて説明した。
- ・つぎに、身近な自然を活かした里地里山タイプのエコツーリズムの例として、飯能市や横須賀市の取組について紹介し、特に地域振興、地域活性化の効果が大きいことや、様々な資源を工夫して、エコツアーの企画実施を行っていることを説明した。
- ・さらに湧水を活かしたエコツアーの例として、飯能市で行われた湧水ツアーを、環境省の作成したエコツーリズム学習DVD「エコツーリズムを推進するために」を用いて紹介した。
- ・湧水を活かしたエコツーリズムは、小浜市でこれまで行ってきた城下町のまちなみや食文化を活かした観光、NHKのドラマと連携した観光等と比べて、観光収入の面では規模は小さいが、地域の人が湧水と湧水にまつわる生活文化についての認識を高めたり、まちへの誇りを醸成する地域振興・地域活性化には期待できることを説明した。
- ・具体的には、まず、地域住民自らが過去と現在の湧水の分布や、かつての生活での利用についてマップを作ることや、個人のお宅の湧水を見せてもらうエコツアーを試行的に実施することなどを提案した。また、湧水を活かしたエコツーリズムにおいては、自噴している湧水を保全・再生することが重要であることを説明した。

●全体構想への取組状況・意向について

小浜市では、湧水を活かした地域振興や地下水保全の推進への模索から、エコツーリズムに取組むきっかけを得た段階であり、現時点では全体構想策定の意向は持っていない。協議会の設置や、全体構想の策定に取組むまでには、地域全体でのエコツーリズムへの認識の高まりが必要と考えられる。

●地域に対する印象、今後地域に期待すること（メッセージ）

小浜市は、歴史や食文化などの観光資源が豊富で、それを活かして熱心に観光振興が行われているという印象を受けた。こうした観光に比べると、身近な自然を対象としたエコツアーでは大きな観光収入を期待するのは難しいが、深く地域を知っていただくことによる地域イメージの向上や、地域住民が地域に誇りを持つといった地域振興の面での効果が非常に大きいことから、これをきっかけにぜひ、エコツーリズムに取り組んでいただきたい。

小浜市では、現在のところ湧水の保全・活用にエコツーリズムという手法が使えないかを検討している段階であるが、どのような効果があるかは、実践してみないと実感できないので、まずは、住民による湧水文化調査（住民自らが行うことが大切です）、試行的に湧水をテーマとしたエコツアーを実施するところから始めていただきたい。